

みずほCustomer Desk Report 2023/07/20号 (As of 2023/07/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	139.04 AUD/USD
TKY 9:00AM	139.01	1.1231	156.13	1.3035	0.6814
SYD-NY High	139.99	1.1240	157.19	1.3040	0.6819
SYD-NY Low	138.77	1.1174	155.87	1.2868	0.6750
NY 5:00 PM	139.72	1.1202	156.50	1.2938	0.6771

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	35,061.21	109.28	日本2年債	▲0.0400%
NASDAQ	14,358.02	4.38	日本10年債	▲0.0200%
S&P	4,565.72	10.74	米国2年債	4.7660%
日経平均	32,896.03	402.14	米国5年債	3.9812%
TOPIX	2,278.97	26.69	米国10年債	▲0.0228%
シカゴ日経先物	32,925.00	135.00	独10年債	2.3960%
ロンドンFT	7,588.20	134.51	英10年債	▲0.1210%
DAX	16,108.93	▲16.56	豪10年債	▲0.0640%
ハンセン指数	18,952.31	▲63.41	USDJPY 1M Vol	11.50%
上海総合	3,198.84	1.02	USDJPY 3M Vol	10.34%
NY金	1,980.80	0.00	USDJPY 6M Vol	9.88%
WTI	75.29	▲0.37	USDJPY 1M 25RR	▲1.37%
CRB指数	273.09	1.24	EURJPY 3M Vol	10.02%
ドルインデックス	100.28	0.34	EURJPY 6M Vol	9.81%
			Yen Call Over	0.13%

東京	東京時間のドル円は139.01レベルでオープン。オープン後から売りが強く、仲値通過後には一時138.86まで下落するも、その後は再び高推移。前日の植田総裁の発言を受けた円売り、株式市場の堅調推移を背景としたリスクオン地合いも相まって、139.46まで上値を伸ばし、139.40レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.40レベルでオープン。植田総裁の発言を受けた円売りが続き139.99まで底堅く上昇し、結局139.79レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2950レベルでオープン。英6月CPIが予想を下回る結果となり、英金利利回りは下落。ポンドも1.2898まで売られそのままNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台後半でスタート。前日の植田日銀総裁が金融緩和政策を継続する見方を示した事から、円売りが優勢となり、140円台手前まで上昇する。しかし、心理的節目の140円台にはタッチできず、小幅反落し、139.79レベルでNYオープン。朝方に発表された米6月住宅着工件数と建設許可件数が共に予想を下回り、売りで反応し、139.38まで下落する。しかし、その後米金利が上昇する展開が支えとなり、139.99まで値を戻すも、失速し再び139円台半ばまで下落する。午後は139.60付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、139.72レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.12台前半でスタート。英6月CPIが予想を下回った結果を受け、ポンドが対ドルで弱まる中、ユーロドルも連れ安となり、一時1.12台を割り込む。その後切り返し、1.12台前半を中心とした推移後、1.1214レベルでNYオープン。朝方は高値の1.1225を付けるも、その後ドル買いの展開を受け、1.1174まで下落する。午後は下げ渋り、独長期金利が高水準で推移する展開を眺めながら小幅反発し、1.1202レベルでクロス。

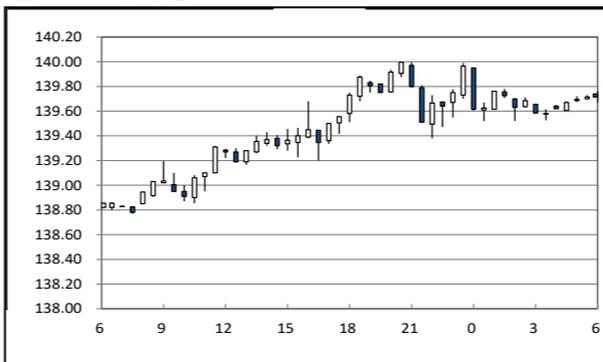
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月19日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/7.9%	0.4%/8.2%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	6月 6.9%	7.1%
	21:30	米 住宅着工件数	6月 1434k	1480k
	21:30	米 建設許可件数	6月 1440k	1500k

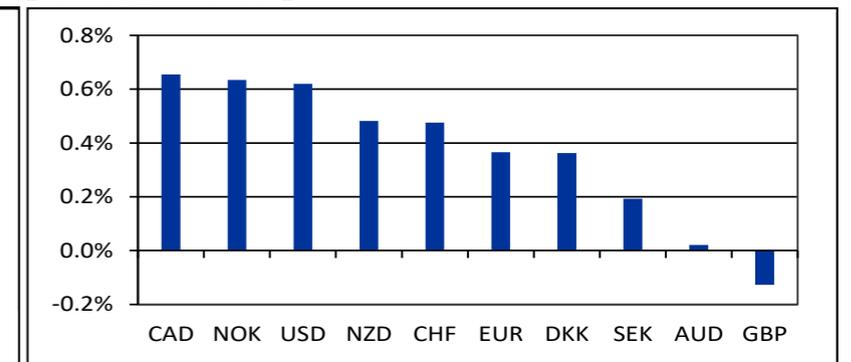
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月20日	08:50	日 貿易収支	6月 -¥46.7b	-¥1381.9b
	10:30	豪 雇用者数変化	6月 15.0k	75.9k
	10:30	豪 失業率	6月 3.6%	3.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	15-Jul 240k	237k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	7月 -10	-13.7
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 4.21m	4.30m
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	7月 -15.8	-16.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.00-140.30	1.1150-1.1280	155.50-157.30

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は底堅く推移。東京時間から前日の日銀植田総裁のハト発言を受けて、ドル円買戻しの動きが活発化。株価上昇の追い風も受けて、右肩あがりの展開となった。海外時間、英6月CPIが予想を大幅に下回る結果となったことでGBPが急落。一時的にGBPJPYの売りにドル円は下押しする場面もあったものの、欧州通貨に対するドル買いと円売りの流れがサポートとなり、ドル円は高値更新。その後は欧州コアCPIの強さなどから、ユーロ円が急伸する流れにドル円は結局高値139.99まで上昇した。NY時間は特段材料なく、高値もみ合いが続いた。

本日のドル円は来週の中銀イベントを控える中、やや上値重い展開を予想。日銀が緩和政策を維持するのであれば円を買う材料はなく、再度ドル円は上昇していく見込みは変わらないが、積みあがったドル円ロング(円ショート)ポジションは、未だ高水準であることは間違いなく、日銀金融決定会合では政策変更無しがメインシナリオだが、イベント前のポジション調整に140円台では一旦上値が重くなりそう。足元の各国インフレの落ち着きも上値を抑える要因。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・松木